

令和7年7月22日

芦屋市 企画部 市長公室
市民参画・協働推進課
課長 山川 尚佳 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

第18回あしや市民活動フェスタ 未来をつくるたぶん100人会議
あなたの「やりたいこと」プレゼンテーション大会事業報告書

- 1 日 時：令和7年7月21日（日）13：30～16：45
- 2 担 当：橋野、出口、株本 文責：株本
- 3 参加者：93名…参加者：60名、プレゼンター：9組（9名）、PR部門：4名
特別審査員：5名、ボランティア：7名 手話通訳者：3名
メディア関係：5名
- 5 目 的：芦屋市における地域課題の解決や社会貢献を目的とした事業をプレゼンテーションし、より多くの市民へ伝える場、つながる場とする。
- 6 内 容：あなたの「やりたいこと」プレゼンテーション大会 発表者：9組
PR部門：らぼ〜るコミュ（浅野俊昭さん）
クラーク高等学院 芦屋校のみなさん
審査結果発表
交流会
- 7 投票結果：以下、各発表者のポイント数

	共感ポイント			応援ポイント		手伝いたい ポイント ○×	合計
	事業性	必要性	先進性	地域性 & 社会性	将来性		
①平松さん	123	180	154	206	211	7	881
②岡さん	155	206	157	247	250	7	1022
③尾庭さん	175	257	177	304	298	17	1228
④宮本さん	165	236	158	277	280	14	1130
⑤井上さん	155	215	132	257	243	5	1007
⑥浅田さん	169	226	153	266	269	6	1089
⑦當宮さん	167	205	172	276	271	18	1109
⑧和田さん	161	202	148	271	267	18	1067
⑨森口さん	150	203	154	256	254	11	1028

グランプリ：尾庭恵子さん
準グランプリ：宮本ゆかり

8 感想（アンケート結果（63件）より抜粋）

- ・プレゼンを聴いて、現在、未来、社会的にも全て必要なことだと思いました。参加して本当に良かったと思いました。
- ・それぞれの参加者が自分のできることを真剣に考え、素晴らしい意見をたくさん聞けて良かった。
- ・発表者の熱意が伝わってきた。
- ・一人ひとりが街のため、人のために色々な方面から色々なことを考え広げていると感じた。
- ・市民の方々の今の気持ちを聞けて共感した。
- ・今の芦屋を良くしたいことがこんなに明らかに市民活動になっていて嬉しかった。 など

9 振り返り

- ・前年度より発表者が多く9組となったこと、それに比例し参加人数も多く、そのため投票結果入力に時間がかかった。入力方法または内容の改善が必要だ。
- ・参加者から手話通訳者の依頼があり市民参画課から申請して頂いた。通常は1週間前の申請とのこと。会場内での立ち位置確認も時間かかることがわかった。
- ・投票結果を見ると僅差であることがわかる。同一団体の声掛けで出場した方が3組いたが、別団体が受賞しており、審査が適正に行われたと言える。
- ・プレゼンテーション大会のあと、1階オープンスペースを交流の場とし、発表者と参加者同士でのつながりの場となっている様子が見受けられた。この事業の目的である「つながる場」への自然な流れが達成できた。
- ・今後は、「市民提案型事業補助金」とスケジュール調整ができればさらに支援の幅も広がるのではないかと思う。検討の可能性を市民参画課と協議できればと思う。 以上

資料1：当日配布プログラム

第18回あしや市民活動フェスタ 発表者紹介

 <p>ペットと人の安心を、地域の手で… いぬねこひなたほっこ 浅田 愛 「人とペットが安心して暮らせる仕組みづくり」に取り組み、ペットと暮らす全ての人が「もしも」のときも安心できる地域の仕組みづくりを目指します。</p>	 <p>日本語の響きで育む生きる力 AUWA65（あうわらっこう） 平松 鏡子 日本古来の音と言葉の韻智「あうた」をベースに、人が本来持っている「生きる力」「学ぶ力」を、自らの内側から再生していく心と身体を調える文化を地域に育てていきたい。</p>
 <p>市民の力で“住み続けたい街”の未来 ～マンションと地域をつなぐ未来へ～ 芦屋市マンションネットワーク会議 井上 裕文 「マンション管理」は単に建物維持管理だけではありません。芦屋を「住み続けたい街」にできる原動力は市民力×プロボノ！一緒に学習し、交流してみませんか。</p>	 <p>いのちを守る小さな森づくり 非営利型一般社団法人 silva（シルヴァ） 宮本 ゆかり 「宮脇方式」という植樹の方式を芦屋で広め、未来の子供たちにも、命を守る森を残したいという活動に賛同してほしい。</p>
 <p>AAP きりんの木 studio AAP アシヤアートプロジェクト 岡 登志子 日本の近代アートの一翼を担う芦屋発祥の「具体美術協会」の活動理念を活用し、子供たちがアートとかわりながら生き生きと育まれる場を作ること、芦屋から絆にとられない新しい文化発信を目指したい。</p>	 <p>孤独を楽しむゆる～いアトリエ みんなのアトリエ イト・ヘンドリクス 森口 郁子 夢中になることで自分も人も認め合えるようになる。孤独でもいい。でも私たちは見えない糸でつながっているよというメッセージを届けられるような「ものづくりの場」を提供したい。</p>
 <p>災害時も共に生きる～伝え合う力を変えるツールの普及活動～ ひょうご防災特別推進員（防災士） 尾庭 恵子 非日常である災害に備え、日常を整えるための小さな一歩を踏み出してほしい。「自分のため」から「誰かとともに生きるため」へとつながっていく、そんな防災のあり方を広めたい。</p>	 <p>花を通じた人と人とのコミュニティづくり 花と緑があふれる街 Ashiya プロジェクト 和田 美奈 JR 芦屋駅前ベジスタリアデッキの緑化を軸とした、彩りと「つながり」を生み出すプロジェクトを展開したい。</p>
 <p>カフェレストラン「Belle Pot あしや」にみんなでタテニワを飾ろう！ タテニワ倶楽部神戸 富宮 雅子 マンションや都会でのコミュニティ作り、ゆるくつながる「タテニワ」を芦屋で広めたい。</p>	<p>発表者の、熱い想いを 見て、聴いて、応援してください！</p> 

主催：芦屋市立あしや市民活動センター リードあしや | 協賛：特定非営利活動法人あしやNPOセンター

資料 2 : 会場内、発表者・集合写真

